



# 声検NEWS

[声優能力認定試験]

[編集発行] 日本声優能力認定協会 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-7-12 セイワビル5F TEL 03-3237-7888 FAX 03-3237-8851

「名探偵コナン」の工藤新一役、「ONE PIECE」のウソップ役など、数多くのヒット作品に出演している人気声優・山口勝平さん。「プロの声優になるための心構え」と「演じること」について、役者としても活躍する山口さんに熱く語っていただきました。

## 自分の意識しないところで好きだったんでしょね、芝居が。

高校のとき、進路を決める三者面談があって、突然「役者になりたい」といったんです。特に故郷の福岡で芝居の勉強をしていたとか、たくさん観劇をしたわけではなく、むしろ芝居とは無縁の生活を送っていました。小学生のときの学芸会くらいですね。芝居が合奏どちらかを選ばなければいけなくて、そのときは必ず芝居を選んでいました。**自分の意識しないところで好きだったんでしょね、芝居が。**でも今考えてみると、思いつきみたいなものだったかもしれません(笑)。

## 才能や素質は、今でもあるかどうかわかりません。ただ、ハツタリでも自分に自信を持つようにしています。

役者になろうと上京した方がいいが、何をすればいいのかわからない。とりあえず福岡の訛りを直した方がいいかなと思い、アナウンス系の専門学校に入学しました。入学後、並行して週に一度、僕の師匠である肝付兼太さんが講師をしている声優の学校にも通ったんです。そこで肝付さんの授業を受け、舞台の話を知っているうちに、自分も舞台に立ちたいと思うようになって、肝付さんの主催する劇団に入りました。公演には声優の仕事関係のお客さんが多く、観に来られた音響監督さんにお声掛けいただいて『どんどんドメルとロン』の船員役で声優としてデビューしました。その後、オーディションを受け、『魔女の宅急便』のトンボ役をやらせていただくことになり、収録がはじまるまでの半年の間に『らま1/2』のオーディションを受けて、乱馬役もやらせていただくことになりました。

最初は、ものすごく緊張はしましたよ。まったくノウハウがないわけですから。マイクの使い方もわからないし、台本だってどう見ていいのかわからない。最初に台本直しをするんですが、そこで出てくる専門用語もわからない。その一方で、自分が小さいときから聞いていた声にうれしくなったりして(笑)。そんな方たちと自分が仕事をしていることが、今でも不思議に感じられる瞬間がありますね。**才能や素質は、デビュー当時はもちろん、今でもあるかどうかわかりません。ただ、ハツタリでも自分に自信を持つようにしてきました。プライド先行にならずに、自分の才能や素質を信じて、俳優や声優のプロとしてやり遂げるんだと自分にいつも言い聞かせていますね。**



### 山口 勝平さん

PROFILE

福岡県福岡市出身。1965年5月23日生まれ。上京後、劇団「21世紀FOX」に所属。

アニメ「犬夜叉」の犬夜叉役、「名探偵コナン」の工藤新一役、「ONE PIECE」のウソップ役など人気アニメに多数出演。劇団ユニット「さんいんのかい」など役者としても活躍。その他イラスト、音楽、殺陣など、マルチな才能を発揮する。声優系プロダクション有限会社「悟空」の代表取締役でもある。

## 山口勝平さんから声優を目指すキミへのアドバイス

- 自分がなりたい姿をビジュアルとして思い描くこと。
- 今しかできない経験をたくさんすること。
- すぐに人に「聞く」のではなく、まずは自分でどうするか、どうしたいか「考える」こと。
- 「演技力」と「感性」、「瞬発力」を身に付けること。

## 山口勝平さんへ3つの質問

Q. どうすれば声優になれますか？

A. 今の20代の子によく聞かれるんです。「どうしたら役者になれますか?」って。そのとき僕は「あなたは どう思いますか?」って聞き返します。今の時代って、パソコンで検索すれば、すぐに答えがでてきちゃうでしょ。だからなのか、すぐに答えを聞こうとするんです。聞くのではなくて、まずは**自分で考えるくせをつけること**。それはまさに役者になるために必要なことでもあるんですね。いろんなジャンルの音楽を聴いたり、本を読んだり、人と会ったりして**自分なりにどう感じたか、どう考えたかを覚えておくこと**が大切です。そうすることで表現の引き出しを増やすんですね。それが増えていけば役者にとって欠かさない「演技力」や「感性」が磨かれていくんです。声優だって同じです。声優は確立した一つの仕事ではなく、役者の仕事の中の一つだと僕は思っていますから。あとは**他人のモノマネではなく、自分自身がどんな声優になりたいかをビジュアルとして思い描けるようにしておくこと**ですね。

Q. 声優の仕事をするのに必要なことはなんですか？

A. 例えばオーディションのときって、キャラの絵と台詞が書いてあるものをもらって、見た瞬間に自分の中でそのキャラを組み立てて、ボンと表現しなければなりません。ですから先にもいったように**「演技力」や「感性」を身に付けることはもちろんですが、同時に「瞬発力」も大事**です。それから、声優の仕事といってもアニメ、CDドラマ、外国映画の吹替えなど様々なジャンルがあるので、それに合わせて表現方法を変えることのできる技術も学ばなければいけないと思います。

Q. 最後に声優を目指すみなさんにメッセージを。

A. 声優の面白いところは、役の幅が広いこと。人間はもちろん、虫だったり、妖怪だったり、舞台ではできない役も演じることがができます。そういった役を演じていくことで、それがまた自分の「演技力」や「感性」につながっていくこともあります。**今を大切にできることが大事**です。学生なら学生時代にしか経験できないことをたくさんやってほしい。そしてその経験を覚えておいてほしい。役者というのはどれだけの経験をしてきたかということが一番の武器になると思いますから。

